

福祉実践 2025 in あきた

～新しい『つながり』をつくる取組～

開催要綱

1 ねらい

県内の各社会福祉施設等における利用者に対するサービス向上及びQOL向上に向けた取組や創意工夫、地域の福祉増進に向けた実践発表に触れ、福祉保健各分野の活動の現況への相互理解を深めるとともに、よりよい福祉サービス提供の推進につなげていくことを目的とします。

2 発表テーマ

「新しい『つながり』をつくる取組」

3 主 催

社会福祉法人秋田県社会福祉協議会 秋田県福祉保健研修センター（秋田県委託事業）

4 受講対象

社会福祉施設・事業者、社会福祉協議会等の役職員

5 研修日程

令和7年12月16日（火）

6 受講定員

100名

7 研修会場

秋田県社会福祉会館 10階 大会議室（秋田市旭北栄町1-5）

8 受講料

1名 3,000円

9 申込期間

令和7年11月11日（火）～11月21日（金）

上記申込期間中に「研修受付システム」よりお申込みください。

※研修受付開始当日の9:00以降に申込みができます。

10 受講の可否

受講決定者には、「受講決定通知書兼受講料請求書」を令和7年11月28日（金）までにメールでお送りします。

（期日を過ぎても連絡がない場合は、お手数ですが担当まで御確認ください。）

II 留意事項

(1) 申込受付

受付期間内で定員の範囲内において先着順とします。申込受付期間内であっても、定員に達した場合は申込受付を締め切りますので、あらかじめ御了承ください。

(2) 受講料の振込

「受講決定通知書兼受講料請求書」に記載している指定期日までに、受講料をお振込みください。なお、振込手数料は受講者（振込人）負担となります。

(3) 研修カード

研修カードをお持ちの方は、当日用意ください。お持ちでない方は、受付時にお申し出ください。

(4) 駐車場

会場となる秋田県社会福社会館の駐車場は、当研修受講者の駐車を保証するものではありません。本会HP〔研修情報＞研修一覧（駐車場のご案内）〕から、秋田県社会福社会館駐車場図、周辺駐車場地図を御確認ください。

(5) 感染症対策

本会が実施する福祉保健研修は、感染症に対する重症化リスクが高い福祉サービス利用者への援助職者を対象としているものです。感染症予防の観点から、研修会場内でのマスク着用を求めます。

(6) 空調

秋田県社会福社会館では、環境への配慮及び節電・省エネルギーを心がけた空調を実施しております。受講者は研修時期の気候に応じ、寒暖等が調整できる服装で御参加ください。

(7) 昼食

受講者各自で御準備ください。（当会館のレストランは、閉店しました。）

(8) その他

- ① 受講申込後の申込内容の変更・取消の場合は、「研修受付システム」から変更してください。
- ② 受講申込時に入力された個人情報は、当該研修の運営管理の目的にのみ使用いたします。

<申し込み・問い合わせ先>

社会福祉法人 秋田県社会福祉協議会
施設振興・人材・研修部 研修担当
秋田県福祉保健研修センター
担当／黒川・浅利

〒010-0922 秋田市旭北栄町1-5

秋田県社会福社会館7階

TEL 018-864-2775 FAX 018-864-2840

【 日 程 表 】

日 時		研 修 科 目 ・ 講 師
12 / 16 (火)	9:00～ 9:45	受 付
	9:45～10:00	オリエンテーション
	10:00～12:30	<p>発表テーマ「新しい『つながり』をつくる取組」 実践発表</p> <p>1. 「自分で出来た！」をもっともっと！！ ～にのに スイッチ部の誕生～ 多機能型ケアベースにのに 田口 梨香 氏 渡辺 陽 氏</p> <p>2. 「ICTでつながる安心と信頼」 －LINE WORKS を活用した家族・医療・施設の協働－ ナーシングホーム Lib ひらか 藤井 裕太 氏</p> <p>3. 地域の中で共に寄り添える大家族を目指して 有限会社 tobe まめでらハウス 大友 マリ子 氏 大嶋 直美 氏</p> <p>4. 「ウォーキング用ポールを使ったシニア向けダンスエクササイズの効果～心理面や身体面に注目して～」 あきたポールウォーキングクラブ 佐々木 奈々子 氏</p>
	12:30～13:30	昼食・休憩
	13:30～15:00	<p>講 演 新しい『つながり』への期待</p> <p>講 師：東北福祉大学 総合福祉学部 教授 田 中 尚 氏</p> <p>グループディスカッション</p>
	15:00～	閉会（アンケート記入他）

福祉実践 2025 in あきた

No.	施設名	発表者	発表タイトル
			概 略
1	多機能型ケアベース にの	保育士 田口 梨香 氏 理学療法士 渡辺 陽 氏	「自分で出来た！」をもっともっと！！ ～にのに スイッチ部の誕生～
			利用者さんが「自分でできること（活動や遊び）をもっと増やしたい」と願う中で、その実現を支えてくださる方々や、有用なツールとの出会いがありました。 本報告では、そうした出会いを通じて取り組んだ活動の概要、利用者さんに見られた変化、今後の目標、そしてご家族の反応についてご紹介します。
2	ナーシングホーム LiB ひらか	代表取締役 藤井 裕太 氏	「ICT でつながる安心と信頼 －LINE WORKS を活用した家族・医療・施設の協働」
			これまで、家族との情報共有は電話や紙が中心で、タイムリーな対応が難しく、医師や薬局との連携も電話やFAXに頼っていたため、情報の行き違いが発生しやすいという課題がありました。 これを解決するために LINE WORKS を導入し、ご家族と施設、さらに医師・薬局・施設の三者間での連携グループを構築することでICT化を推進しました。情報の「見える化」による具体的な効果についてご報告いたします。
3	有限会社 to be まめでらハウス	管理者補佐 大友 マリ子 氏 大嶋 直美 氏	地域の中で共に寄り添える大家族を目指して
			会社名「to be」の由来は「ある。」です。それだけで人の生きる価値を見だし、利用者すべての「生きる」ことに寄り添える喜びを分かち合いたいと考えています。開設から20年経っても継続している理念を、今後も地域のなかで目指すため、老若男女、障害の有無を問わず、共に過ごす空間を作りました。その活動をご紹介します。
4	あきたポールウォーキングクラブ	代表 佐々木 奈々子 氏	「ウォーキング用ポールを使ったシニア向けダンスエクササイズの効果～心理面や身体面に注目して～」
			専用のポールを使って歩くことで、正しい姿勢を保ちながら歩幅を広げて歩くことができる「ポールウォーキング」。自覚的な運動負荷が少ないにもかかわらず、補助機能の改善が期待でき、また仲間とおしゃべりを楽しみながら歩けるため、孤立を防ぎつつ健康づくりに効果があることに着目し、屋内でも実施できるエクササイズとして、ウォーキング用ポールを使ったダンスエクササイズを考案しました。 会員有志による実演の経験から、仲間との絆が深まり、心が穏やかになるといった成果が得られたため、その内容を報告いたします。

≪発表時間 1事業所 30分≫

（時間配分の目安：発表20分以内、質疑応答・講師講評5分、発表前後の準備5分）